



～交流及び共同学習～

居住地校交流

(本校の児童生徒が住んでいる地域の小・中学校との交流)

交流及び共同学習では、障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いに理解を深め合い、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学んでいます。

(秋田県教育委員会発行のパンフレットより)

交流を希望する本校の児童生徒と学級担任と一緒に、児童生徒が住んでいる地域の小・中学校へ行き、通常学級や特別支援学級で交流を行います。交流内容は、音楽や体育、特活（交流集会）で交流することが多く、年1～2回行っています。

また、障害のある人の理解を促すとともに、自分たちの周りには多様な人々がいることへの理解もねらい、本校がゲストティーチャーとして障害理解授業を行い、より充実した交流となるように事前学習に協力しています。内容は、体験学習を中心に、児童の実態に合わせて実施しています。

詳しくは、本校のホームページでも紹介しています。



心のバリアフリーいっぱい地域と共に育つ 障害理解の出前授業

大館地区では、障害のある子どもたちも社会で働く方々も、それぞれに自立した社会参加を実現してきました。さらに一歩進めて、互いの違いや多様な在り方を認め合い、支え合う共生社会の実現に向けて、障害理解の生きる素地づくりから、実践行動の定着を目指します。

実際に交流活動で
自分の変化を実感する

自分ならどうする？

何ができる？を考える

疑似体験を通して、自分の事として感じる、受け止める

いろいろな人がいることに気づく・知る

交流及び
共同学習等

出前授業

出前授業は、様々な障害に関する種類や特性などを体験を通して学び、障害に関する理解を深め、具体的ななかかわり方や互いの違いを認め合い、思いやりの心を育むことができるようなプログラムになっています。交流活動(居住地校交流含む)とセットでの実施はさらに効果的です。小・中学校、高等学校、一般の方などご相談ください。

1年「いろいろな人がいるってどんなこと？」
比内支援学校紹介、違いを知る

2年「地域の中のバリアフリー」
見つけてみようバリアフリークイズ、体験活動、

3年「聴覚障害について知ろう」
聴覚障害を知ろう 体験活動
(聴覚支援学校と連携)

4年「視覚障害について知ろう」
視覚障害を知ろう 体験活動
(視覚支援学校と連携)

5・6年「困り感のある人について知ろう(見えない障害:知的障害・発達障害)」
基礎知識 体験活動

中学校・高等学校
心のバリアフリー・共生社会は誰のため？

発達の段階に応じて工夫します

気づくこと、感じること、考えることを大切にします



秋田県立比内支援学校

教頭 : 佐藤 香代子

地域支援部: 市川千恵子

TEL: 0186(55)2131 FAX: 0186(55)2132

E-mail: hinai-s@akita-pref.ed.jp

